

ずっと美しく

学校制服は、
美しく長持ちします。

3年間、美しさを保ち、長持ちする生地を使用しています。

- 一般衣料の約2～3倍の耐久性を規格し、破れ・擦り切れ・色あせが起りにくい生地を使用しています。
- 家庭での洗濯を可能にするよう、型崩れが起りにくい縫製をしています。
- 子どもの成長に対応できるよう、袖丈やスラックスの裾を調整できます。



SDGsへの
取り組み

未来も、思い出も 学校制服と共に

学校制服が、教育環境に寄りそって
子どもたちの成長に寄与する、6つのポイント。
持続可能な未来への取り組みです。

思いを手渡す

学校制服は、
思い出も引き継ぎます。

3年間の着用後、お下がりやお譲りなどの
リユースも行われています。

引き継がれる内容	中学校制服	高校制服
兄弟・姉妹へお下がり	8.0%	3.3%
知人や友人に譲った	19.0%	9.4%
学校やPTAへリサイクル	12.9%	6.6%

※ニッケ調べ(2023年) ※重複回答あり



SDGsへの取り組み

自然を守る

学校制服は、
自然環境に優しい衣服です。

学校制服は、環境に低負荷な素材を
使用する事に努力しています。

- 自然に優しい天然素材であるウールや、ペットボトル再生ポリエステルを使用しています。
- 着用中や洗濯時に発生するマイクロプラスチックの脱落を減らす紡績開発で、海洋汚染の原因を低減しています。
- 物流の効率化やエネルギー転換などで、温室効果ガス削減へ貢献しています。



SDGsへの
取り組み

心に寄り添う

学校制服は、
DE&Iを体現します。

ジェンダー、国籍、障がい、アレルギー、体型、宗教など、
子どもたちの多様性に配慮。
DE&Iに対応出来る学校制服をご用意しています。

※DE&Iは、ダイバーシティ(多様性)・エクイティ(公平性)・
インクルージョン(包摂性)を具現化する取り組みです。

SDGsへの取り組み



着用から成長へ

学校制服の
着こなしをサポートします。

制服の着こなしを学ぶ講座や、環境・LGBTQの知識を
深めるレクチャーを、学校制服販売店やメーカーが随時開催。
子どもたちの日常に寄り添います。



制服の着こなし講座を
開催しています。



被災生徒支援プロジェクトを
実施しています。

SDGsへの取り組み

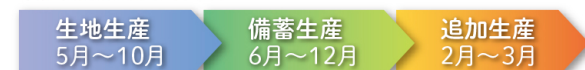


捨てない工夫

学校制服は、
廃棄が少量です。

一般衣料に比べて、CO₂の排出量や廃棄処分が
発生しにくいモノづくりを行っています。

学校制服のモノづくりフロー



学校制服は、あらかじめ需要予測を立てて適量生産を行うので、廃棄処分を少なくできます。

一般衣料の環境負荷

(原材料調達から製造段階までに排出される環境負荷の年間総量)

項目	CO2排出量	水消費量	端材等排出量	化学物質に よる水質汚染
総量	約90,000kt	約83億m ³	45,000t	
1着あたり	500mlペット ボトル255本	浴槽 約11杯分	衣服 約1.8億着分	



※環境省: サステナブルファッション(2022年)より

衣料品の廃棄問題

国内新規 供給量	家庭及び 事業所から 手放される量	このうち 廃棄される量
79.8万t	73.1万t	47万t



※消費者庁: ファッションを持続可能に(2022年)より

SDGsへの取り組み

